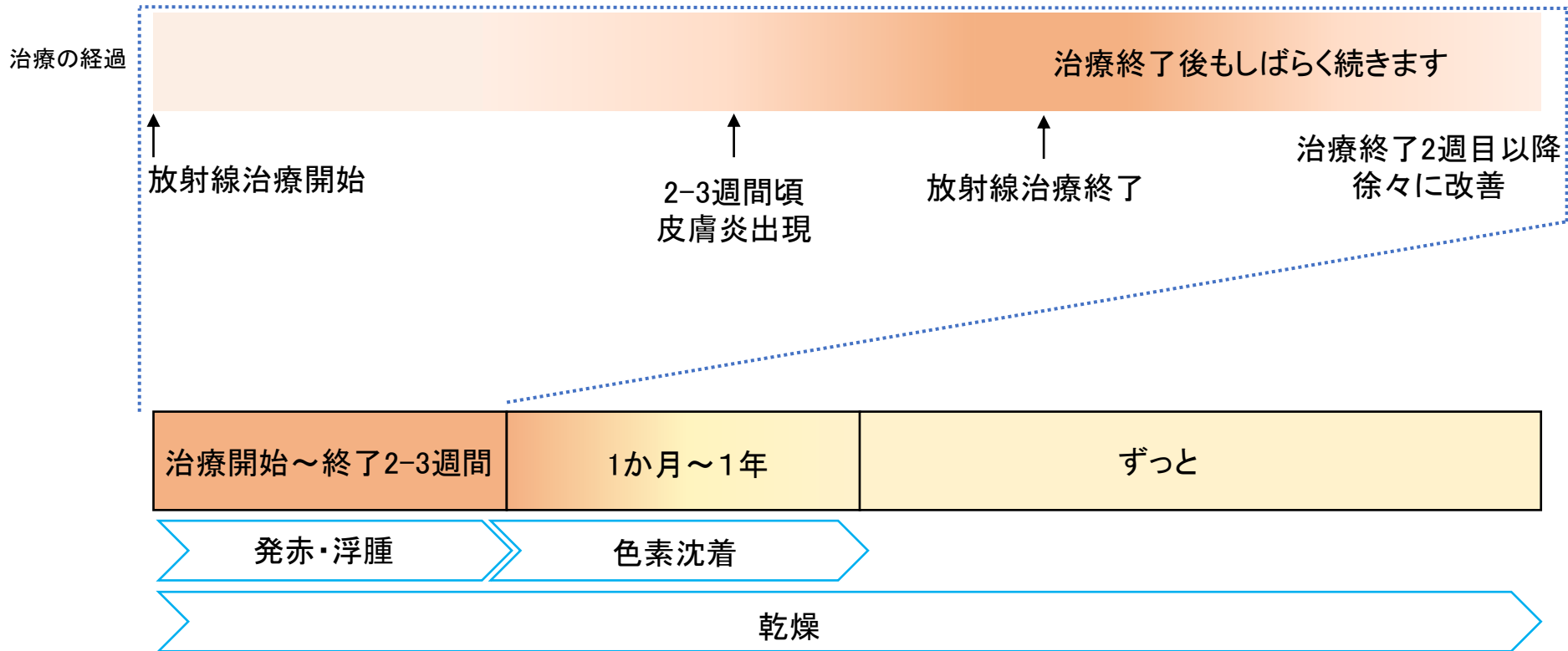


放射線治療中のスキンケア

放射線治療を行うと臓器以外にも皮膚に炎症が起きます。
赤み、かゆみ、ひりひり感などの症状が起き、ひどくなると皮膚がむけたり、水疱が出来たりします。
放射線治療中は皮膚の保湿をしっかり行い、刺激を避けましょう。
放射線治療終了後も皮膚炎が良くなった後、薬物治療により皮膚炎が再燃することがあります(リコール現象)ので、薬物療法の開始時期は主治医とよくご相談ください。



放射線皮膚炎を軽減するため、スキンケアが重要です。

皮膚ケアの基本は、3つ。「皮膚を清潔に保つ」「刺激を避ける」「保湿する」

・洗淨、入浴：刺激のないボディソープやせっけんをよく泡立てて、優しく洗いましょう。

ナイロンタオルやボディブラシの使用は避けましょう。

タオルでふく際はごしごしせずに押さえ拭きをしましょう。

・入浴：熱いお湯や温泉は皮膚炎を悪くすることがありますので、治療中は刺激を感じないお湯、温度で入浴しましょう。

サウナや岩盤浴は避けましょう。プールは塩素が刺激になるので、皮膚の赤みがあるうちは控えましょう。

・保湿：放射線治療開始から皮膚炎を予防するためにしっかり保湿しましょう。

照射している部分(胸部)と放射線治療が通り抜ける部分(背中)も保湿しましょう。

放射線皮膚炎が起こる範囲を治療中によく確かめて丁寧に保湿しましょう。

・下着：肌に刺激の少ない柔らかい素材のものを選びましょう(縫い目やタグがないものをお勧めします)。

圧迫やすれがないうったりしたものを選びましょう。

・制汗剤の使用：制汗剤の化学物質や香料などの刺激で、皮膚炎が悪くなることがあります。

・脱毛：放射線があたる部分の毛は永久脱毛になります。皮膚への刺激になるので、治療中の脱毛や毛ぞりは控えましょう。

・テーピング：術後傷ケアのテーピングは治療中は行わないようにしましょう(皮膚がむけてしまいます)。

・皮膚炎がひどい場合には、医師や看護師にご相談ください。

保湿薬

放射線治療開始
放射線皮膚炎予防に保湿

放射線皮膚炎
ステロイド混合薬に変更

放射線治療後
半年程度はしっかり保湿
乾燥症状は一生続くため、
随時保湿



皮膚炎出現時

掻痒感
発赤
ひりひり



※フォームは油分を含まないため
放射線のマーキングが消えない

被覆材の選択

放射線皮膚炎がひどい時(皮膚がむけるなど)にガーゼを
はがす刺激を避けるため、はがしやすいガーゼを使用します。
無印良品や100円ショップでも取り扱いがあります。



デルマエイド®
(当院採用)



メロリン®



モイスキンパッド®

被覆材の固定

なるべくテープの固定を避け、チューブタイプの包帯や前開き
下着で固定します。
テープで固定する場合は、照射された皮膚をカバーするように広
めのガーゼで多い、皮膚に優しいシリコンテープを貼りましょう。

